

<毎月決算型>

第114期末 (2023年1月20日)	
基準価額	3,724円
純資産総額	12億円
第109期～第114期 (2022年7月21日～2023年1月20日)	
騰落率	4.2%
分配金合計	360円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年2回決算型>

第19期末 (2023年1月20日)	
基準価額	17,824円
純資産総額	291百万円
騰落率	3.2%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 通貨選択型ニッセイ 世界高配当株ファンド

(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合 **特化型**

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2022年7月21日～2023年1月20日

<毎月決算型>

第109期 (決算日2022年8月22日) 第112期 (決算日2022年11月21日)  
第110期 (決算日2022年9月20日) 第113期 (決算日2022年12月20日)  
第111期 (決算日2022年10月20日) 第114期 (決算日2023年1月20日)

<年2回決算型>

第19期 (決算日2023年1月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2023年1月20日に決算を行いました。

各ファンドは、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート(不動産投資信託)等を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を活用し、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

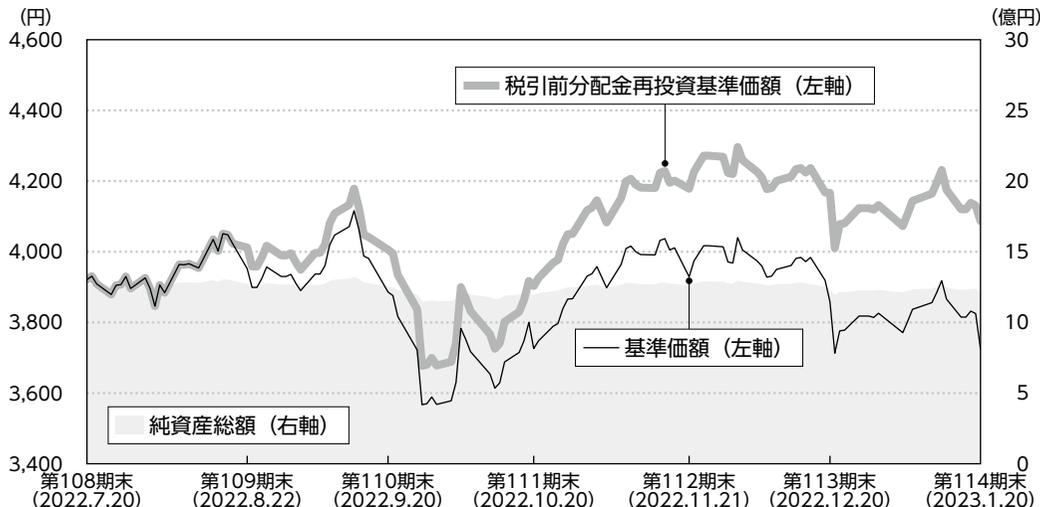
なお各ファンドは、運用開始以来、長らくご愛顧いただきましたが、2023年7月20日に信託期間満了となります。

今後ともいっそうのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2022年7月21日～2023年1月20日

## 基準価額等の推移



第109期首	3,921円	既払分配金	360円
第114期末	3,724円	騰落率 (分配金再投資ベース)	4.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・ 当作成期初から10月にかけて選定通貨が対円でおおむね上昇したこと
- ・ 10月から12月にかけて、世界的に高配当バリュー（割安）株が物色され、当ファンドの保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 10月中旬から12月中旬にかけて、インフレのピークアウト観測から欧米の利上げペース減速に対する期待感の高まりや、イギリスの財政悪化懸念の後退、市場予想ほど悪化しなかった企業業績の動向、中国の「ゼロコロナ」政策の事実上の撤廃から株価が上昇したこと
- ・ 1月上旬から、緩やかな景気悪化ペースを背景とした懸念の一服感やこれまで大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きから株価が上昇したこと

### <下落要因>

- ・ 8月下旬から9月下旬にかけて、欧州でのガス供給を巡るエネルギー動向への懸念やインフレの加速、欧米中央銀行の積極的な金融引き締め姿勢、イギリスのトラス前政権が発表した大幅な減税を含む経済対策による財政悪化・インフレ助長への懸念から英金利が急騰したこと
- ・ 12月中旬から下旬にかけて、中国における新型コロナウイルスの感染拡大に加えて、グローバルでの金融引き締め強化継続や景気減速への懸念から株価が下落したこと
- ・ 11月から当作成期末にかけて選定通貨が対円でおおむね下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	24円	0.621%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は3,886円です。
（投信会社）	（ 6）	（0.166）	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（17）	（0.443）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.013）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0）	（0.005）	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	24	0.626	

（注1） 作成中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2） 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

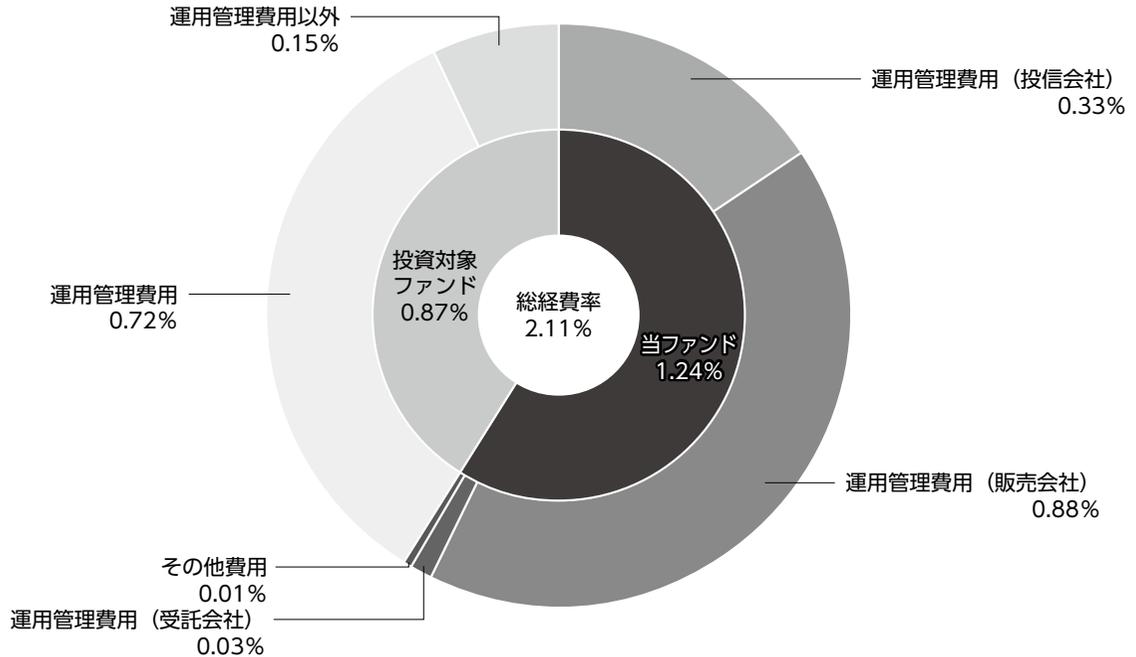
（注3） 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（注4） 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.11%**です。



項目	比率
総経費率（①+②+③）	2.11%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

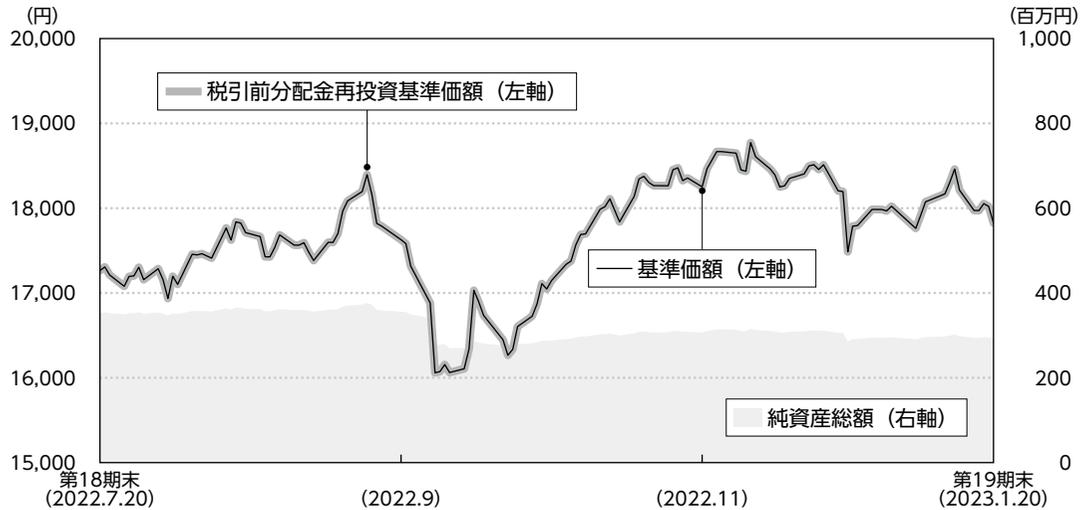
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 基準価額等の推移



第19期首	17,264円	既払分配金	0円
第19期末	17,824円	騰落率 (分配金再投資ベース)	3.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

## &lt;上昇要因&gt;

- ・ 期初から10月にかけて選定通貨が対円でおおむね上昇したこと
- ・ 10月から12月にかけて、世界的に高配当バリュー（割安）株が物色され、当ファンドの保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 10月中旬から12月中旬にかけて、インフレのピークアウト観測から欧米の利上げペース減速に対する期待感の高まりや、イギリスの財政悪化懸念の後退、市場予想ほど悪化しなかった企業業績の動向、中国の「ゼロコロナ」政策の事実上の撤廃から株価が上昇したこと
- ・ 1月上旬から、緩やかな景気悪化ペースを背景とした懸念の一服感やこれまで大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きから株価が上昇したこと

## &lt;下落要因&gt;

- ・ 8月下旬から9月下旬にかけて、欧州でのガス供給を巡るエネルギー動向への懸念やインフレの加速、欧米中央銀行の積極的な金融引き締め姿勢、イギリスのトラス前政権が発表した大幅な減税を含む経済対策による財政悪化・インフレ助長への懸念から英金利が急騰したこと
- ・ 12月中旬から下旬にかけて、中国における新型コロナウイルスの感染拡大に加えて、グローバルでの金融引き締め強化継続や景気減速への懸念から株価が下落したこと
- ・ 11月から当期末にかけて選定通貨が対円でおおむね下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第19期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	111円	0.628%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は17,698円です。
(投信会社)	( 30)	(0.168)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 79)	(0.447)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.006	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.006)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	112	0.634	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

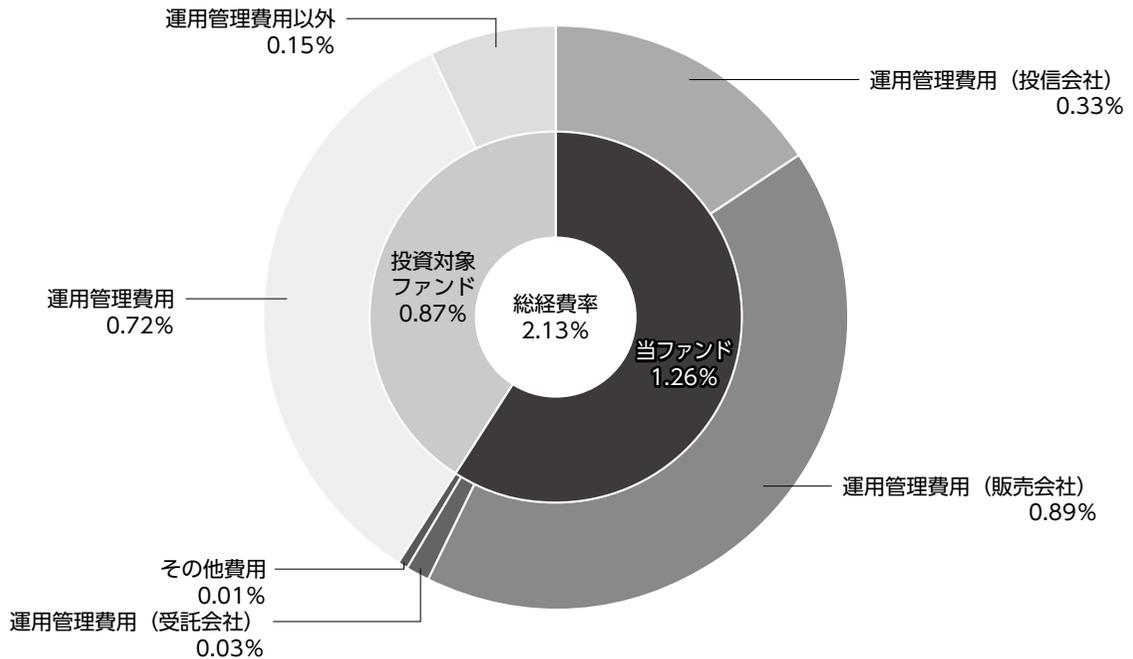
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.13%**です。



項目	比率
総経費率（①+②+③）	2.13%
①当ファンドの費用の比率	1.26%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

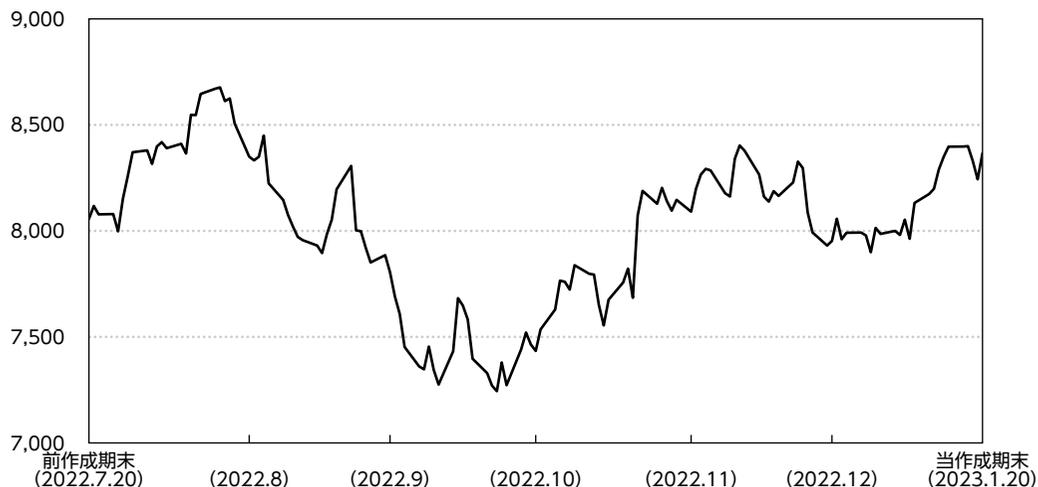
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 海外株式市況

【MSCI World (配当込み、米ドルベース) の推移】



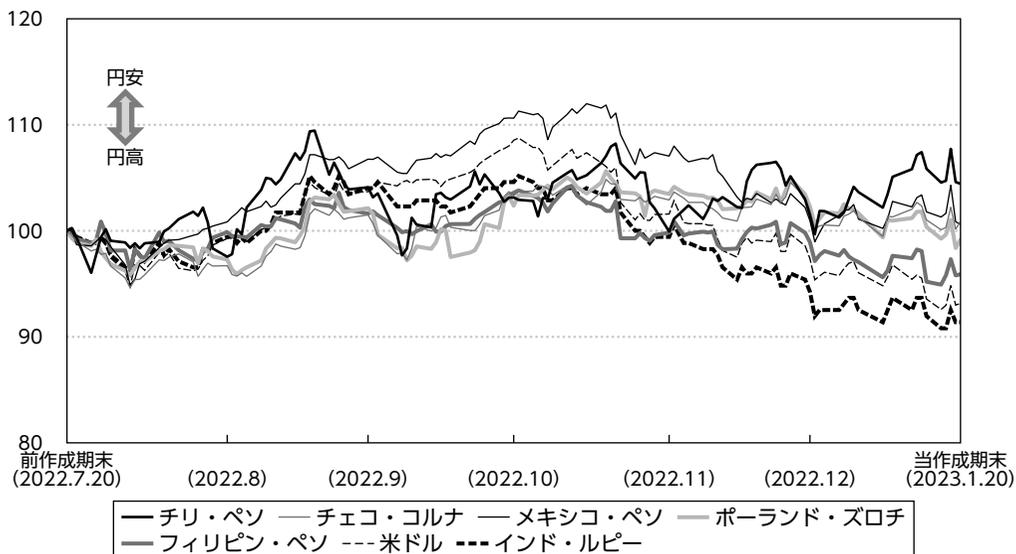
(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

当作成期の世界株式市場は、世界的な金融引き締めや景気動向を巡り乱高下する展開となりました。

当作成期初以降、金融引き締めペースの鈍化期待等を背景に株価は上昇しました。しかし、8月中旬以降は欧州でのガス供給を巡るエネルギー動向への懸念やインフレの加速、欧米中央銀行の積極的な金融引き締め姿勢、イギリスのトラス前政権が発表した大幅な減税を含む経済対策による財政悪化・インフレ助長への懸念から英金利が急騰するなど、欧米金利の上昇傾向に一時歯止めがかからなかったことで投資家のリスク回避姿勢が活発になり株価は下落しました。その後、イギリス政府が減税策を撤回したことやトラス氏の辞任・スナク新内閣の成立で財政悪化懸念が和らいだことに加えて、インフレのピークアウト観測から欧米の利上げペース減速に対する期待感が高まり株価は上昇しました。また、中国の「ゼロコロナ」政策の事実上の撤廃で経済活動再開への期待感が高まったことも追い風となりました。その後はグローバルでの金融引き締め強化継続や景気減速などが再び嫌気される場面もあったものの、年明け以降は緩やかな景気悪化ペースを背景とした懸念の一服感やこれまで大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きなどにより、株価は上昇しました。

## ■為替市況

【為替レートの推移】



(注) 上のグラフは、ファンドで当作成期において投資実績のある通貨の対円為替レートを前作成期末を100として指数化したものです。

当作成期の選定通貨は、当作成期初から10月にかけて米国の利上げによる景気減速懸念が下落要因となりましたが、海外中央銀行が利上げを実施する一方で日銀が金融緩和を継続していたことから日本円が下落したため、対円では上昇基調となりました。11月以降は米国の利上げペース鈍化期待を受けた投資家のリスク選好姿勢から選定通貨は上昇しましたが、日銀が長期金利の許容変動幅拡大を決定したことが事実上の緩和縮小と受け止められ、日米金利差縮小観測が高まったことから日本円が上昇し、対円では下落基調となりました。

個別通貨については、8月の為替介入や10月の利上げを受けてチリ・ペソが上昇しました。また、12月には中国の景気減速懸念やインド準備銀行（RBI：中央銀行）の利上げペース鈍化観測を受けてインド・ルピーが下落しました。

## ポートフォリオ

### ■各ファンド

当作成期も外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を活用し、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス

\*現地における当作成期末の前営業日基準についての説明です。

#### <個別銘柄>

主に日本を含む各国の株式およびリート等に分散投資し、予想配当利回り、配当政策、流動性および個別企業分析・株価評価等を勘案してポートフォリオを構築しました。

当作成期末においても、配当利回りが相対的に高い銘柄を保有しています。世界的なIT（情報技術）サービス企業、飲料メーカー、BDC（ビジネス・デベロップメント・カンパニー）、総合エネルギー企業、通信サービス会社など、インフレ環境下で価格決定力があり、優れた経営戦略を有し、強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、今後の利益成長も期待できバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）も魅力的な水準にあると判断される企業を中心に上位に保有しています。

#### <国・地域別配分>

当作成期末では組入比率の高い順にアメリカ（39.5%）、台湾（8.7%）、ノルウェー（8.1%）としています。

（注1）国、地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

#### <業種配分>

当作成期末では、デジタル社会が進む中で強い需要が継続しているクラウド・データセンター向けなどのエンド市場の成長を背景に堅調な需要が見込まれているITサービスや半導体などの関連企業を中心とした「情報技術」、金融緩和の正常化過程において金利環境改善の恩恵が見込めるBDCや銀行などの「金融」、研究開発パイプライン（新薬候補）と株主還元のバランスが取れた大手医薬品メーカーを中心とした「ヘルスケア」の組入比率が高いポートフォリオとしています。

（注）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

#### <為替取引>

原則として「原資産通貨」売り／「選定通貨」買いの為替取引を利用し、選定通貨で実質的な運用を行いました。

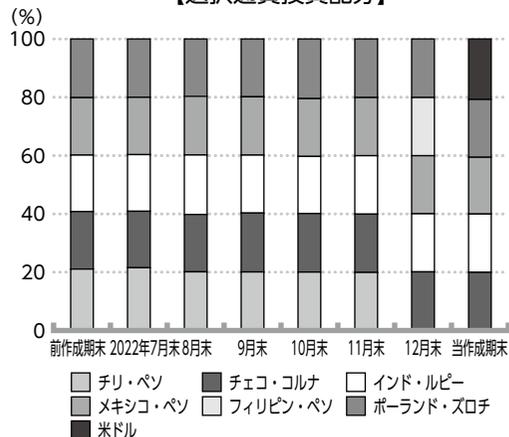
（注1）原資産通貨とは、保有資産の表示通貨です。

（注2）選定通貨とは、運用会社が選定した複数の通貨です。

### <選定通貨投資配分>

金利水準やファンダメンタルズ（経済の諸条件、経済の基礎的条件）、流動性等を勘案し、適宜見直しを行いました。その結果、当作成期末ではメキシコ・ペソ、インド・ルピー、チェコ・コルナ、ポーランド・ズロチ、米ドルの5通貨としています。

【選定通貨投資配分】



(注) 比率は対選定通貨評価額比です。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

### ■毎月決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を活用し、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

### ■年2回決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を活用し、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■ 毎月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第109期 2022年7月21日 ～ 2022年8月22日	第110期 2022年8月23日 ～ 2022年9月20日	第111期 2022年9月21日 ～ 2022年10月20日	第112期 2022年10月21日 ～ 2022年11月21日	第113期 2022年11月22日 ～ 2022年12月20日	第114期 2022年12月21日 ～ 2023年1月20日
	当期分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円
対基準価額比率	1.50%	1.52%	1.58%	1.50%	1.53%	1.59%
当期の収益	60円	60円	60円	60円	60円	60円
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,064円	3,083円	3,103円	3,126円	3,146円	3,166円

### ■ 年2回決算型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2022年7月21日～2023年1月20日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	25,792円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■各ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を活用し、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス

不透明な相場環境が続く株式市場の物色も目まぐるしく変化する中で、高配当銘柄はインフレヘッジ（インフレによる資産価値の相対的下落による損失回避）目的に適しているものがあり、投資対象として比較的良好な位置にあると判断しています。当ファンドの高配当銘柄は強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、バリュエーションも魅力的な水準にあると判断しています。引き続き、適切な財務レバレッジ（借入金などを利用して多くの資金を事業に投下すること）により、着実なキャッシュフローの創出で配当支払いをしっかりとカバーでき、今後の業績・配当成長と利回りのバランスがとれた銘柄を選別していくことが重要であると考えています。

このような環境のもと、投資の視点で注目すべきことは引き続き、先進国株式市場においては確かな経営執行能力を持つ企業への厳選投資であると考えています。一方、新興国株式市場においては魅力ある成長性とバリュエーションを持つ企業への選別投資が必要であると考えており、そのためには業績の裏付けがある個別企業の成長性や、豊富な手元流動性（すぐに支払いにあてることのできる資産）の有効活用など、企業の資本政策に対する考え方に注目すべきであると考えています。

当ファンドでは特に高配当銘柄に着目し投資銘柄を厳選しています。しかし、単純に配当利回り水準のみに注目すると、成長力が乏しく、万年割安な銘柄（株価上昇が見込めない銘柄）を選択する懸念があります。そのため、個別企業の徹底した調査・分析を実施し、企業の資本政策を見極め、配当利回りが高いだけでなく、成長性が見込め、かつ、株価の上昇が期待できる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

今後も個別企業とのコンタクトに力点を置き、企業の配当政策や成長戦略を把握した上で、事業の収益性と安定性のバランス、今後の利益成長も見込める企業を厳選し、投資を行う方針です。

選定通貨については、金利水準やファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、為替取引による「プレミアム（金利差相当分の収益）」と「為替差益」の獲得をめざして運用を行う方針です。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## 通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第114期末 2023年1月20日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	97.7%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

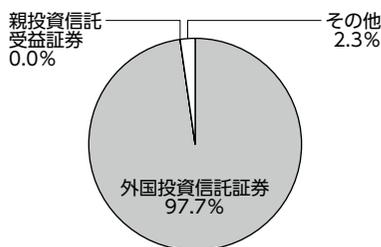
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

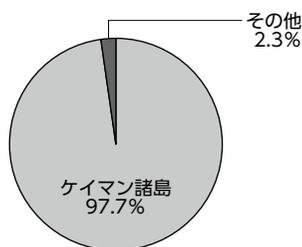
項目	第109期末 2022年8月22日	第110期末 2022年9月20日	第111期末 2022年10月20日	第112期末 2022年11月21日	第113期末 2022年12月20日	第114期末 2023年1月20日
純資産総額	1,271,552,011円	1,248,596,571円	1,196,813,753円	1,257,709,802円	1,231,085,320円	1,204,852,882円
受益権総口数	3,217,087,589口	3,213,169,689口	3,212,023,478口	3,201,072,170口	3,191,320,153口	3,235,007,914口
1万口当たり基準価額	3,952円	3,886円	3,726円	3,929円	3,858円	3,724円

(注) 当作成期間（第109期～第114期）中における追加設定元本額は177,240,085円、同解約元本額は166,296,926円です。

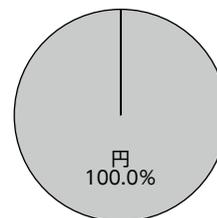
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年1月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## 通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第19期末 2023年1月20日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	98.0%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

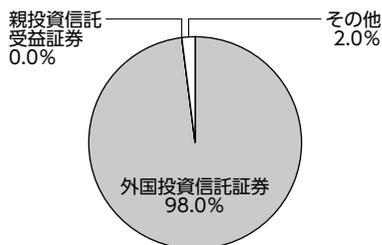
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

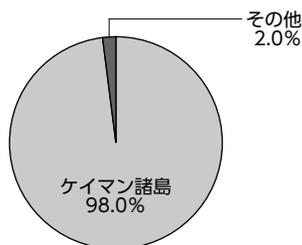
項目	第19期末 2023年1月20日
純資産総額	291,819,587円
受益権総口数	163,723,585口
1万口当たり基準価額	17,824円

(注) 当期間中における追加設定元本額は434,683円、同解約元本額は41,423,545円です。

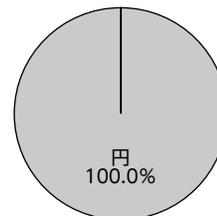
### 資産別配分



### 国別配分



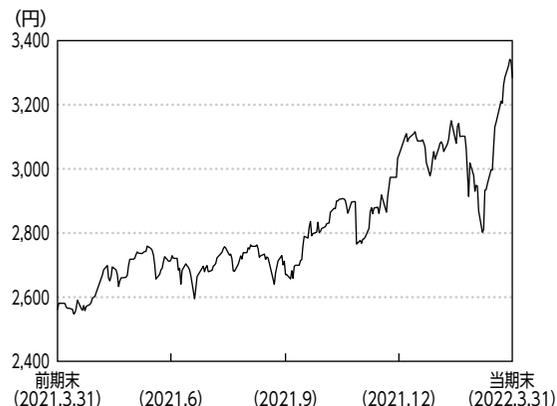
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年1月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

# NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラスの概要

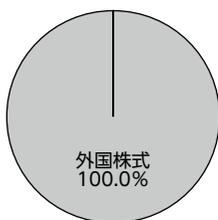
## ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



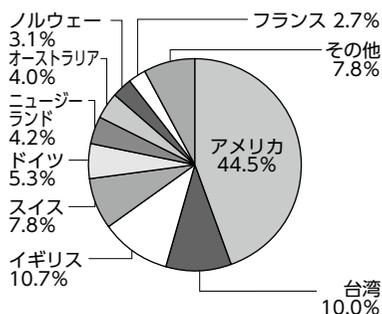
## ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
CHEVRON CORP	米ドル	7.6%
BROADCOM INC	米ドル	6.2%
PFIZER INC	米ドル	4.9%
ARES CAPITAL CORP	米ドル	4.7%
INTL BUSINESS MACHINES CO	米ドル	4.6%
COCA-COLA CO/THE	米ドル	4.5%
SWISS RE AG	スイス・フラン	4.4%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	台湾ドル	4.4%
SPARK NEW ZEALAND LTD	ニュージーランド・ドル	4.2%
RIO TINTO PLC	イギリス・ポンド	4.1%
組入銘柄数		46

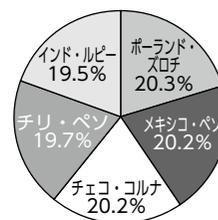
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

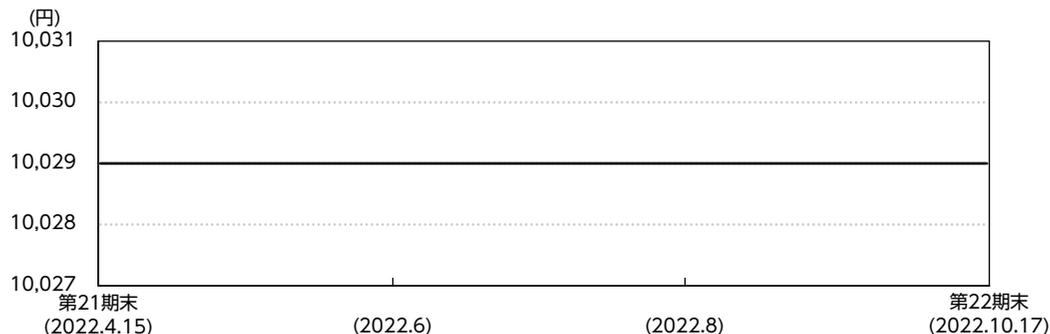
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2022年3月31日現在）のものであり、比率は上位銘柄、資産別・国別配分は、外国投資信託証券のポートフォリオ部分に対する評価額の割合、通貨別配分は、選定通貨に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

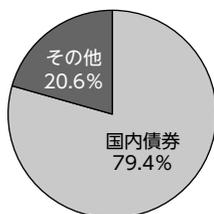
銘柄名	通貨	比率
第374回 大阪府公募公債 (10年)	円	19.9%
平成24年度第2回 新潟県公募公債	円	19.8
第193回 神奈川県公募公債	円	19.8
第115回 共同発行市場公募地方債	円	19.8
組入銘柄数		4

### ■ 1万口当たりの費用明細

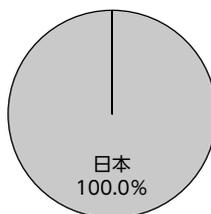
2022.4.16~2022.10.17

項目	金額
その他費用	0円
(その他)	(0)
合計	0

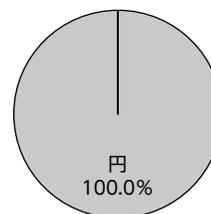
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2022年10月17日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・ セレクト・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
85期 (2020年 8月20日)	3,514	60	1.3	11,014	98.0	0.0	1,472
86期 (2020年 9月23日)	3,494	60	1.1	11,054	98.1	0.0	1,445
87期 (2020年10月20日)	3,488	60	1.5	11,108	98.0	0.0	1,432
88期 (2020年11月20日)	3,595	60	4.8	11,275	98.1	0.0	1,465
89期 (2020年12月21日)	3,670	60	3.8	11,410	98.1	0.0	1,480
90期 (2021年 1月20日)	3,778	60	4.6	11,578	98.0	0.0	1,474
91期 (2021年 2月22日)	3,858	60	3.7	11,718	97.9	0.0	1,480
92期 (2021年 3月22日)	3,989	60	5.0	11,909	98.0	0.0	1,511
93期 (2021年 4月20日)	3,987	60	1.5	11,967	98.3	0.0	1,490
94期 (2021年 5月20日)	4,029	60	2.6	12,069	97.9	0.0	1,475
95期 (2021年 6月21日)	4,000	60	0.8	12,100	97.8	0.0	1,433
96期 (2021年 7月20日)	3,847	60	△2.3	12,007	97.9	0.0	1,324
97期 (2021年 8月20日)	3,911	60	3.2	12,131	98.1	0.0	1,304
98期 (2021年 9月21日)	3,882	60	0.8	12,162	98.0	0.0	1,287
99期 (2021年10月20日)	3,976	60	4.0	12,316	98.0	0.0	1,307
100期 (2021年11月22日)	3,972	60	1.4	12,372	98.0	0.0	1,264
101期 (2021年12月20日)	3,967	60	1.4	12,427	98.0	0.0	1,258
102期 (2022年 1月20日)	4,138	60	5.8	12,658	98.0	0.0	1,320
103期 (2022年 2月21日)	4,102	60	0.6	12,682	97.9	0.0	1,298
104期 (2022年 3月22日)	4,093	60	1.2	12,733	98.2	0.0	1,298
105期 (2022年 4月20日)	4,383	60	8.6	13,083	98.0	0.0	1,387
106期 (2022年 5月20日)	4,030	60	△6.7	12,790	98.0	0.0	1,279
107期 (2022年 6月20日)	3,916	60	△1.3	12,736	97.8	0.0	1,254
108期 (2022年 7月20日)	3,921	60	1.7	12,801	98.1	0.0	1,264
109期 (2022年 8月22日)	3,952	60	2.3	12,892	98.0	0.0	1,271
110期 (2022年 9月20日)	3,886	60	△0.2	12,886	98.0	0.0	1,248
111期 (2022年10月20日)	3,726	60	△2.6	12,786	98.0	0.0	1,196
112期 (2022年11月21日)	3,929	60	7.1	13,049	97.2	0.0	1,257
113期 (2022年12月20日)	3,858	60	△0.3	13,038	97.9	0.0	1,231
114期 (2023年 1月20日)	3,724	60	△1.9	12,964	97.7	0.0	1,204

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・ セレクト・クラス	債券 組入比率
第 109 期	(期首) 2022年7月20日	円 3,921	% -	% 98.1	% 0.0
	7月末	3,896	△0.6	97.8	0.0
	(期末) 2022年8月22日	4,012	2.3	98.0	0.0
第 110 期	(期首) 2022年8月22日	3,952	-	98.0	0.0
	8月末	3,936	△0.4	97.8	0.0
	(期末) 2022年9月20日	3,946	△0.2	98.0	0.0
第 111 期	(期首) 2022年9月20日	3,886	-	98.0	0.0
	9月末	3,568	△8.2	97.6	0.0
	(期末) 2022年10月20日	3,786	△2.6	98.0	0.0
第 112 期	(期首) 2022年10月20日	3,726	-	98.0	0.0
	10月末	3,931	5.5	98.0	0.0
	(期末) 2022年11月21日	3,989	7.1	97.2	0.0
第 113 期	(期首) 2022年11月21日	3,929	-	97.2	0.0
	11月末	3,968	1.0	97.8	0.0
	(期末) 2022年12月20日	3,918	△0.3	97.9	0.0
第 114 期	(期首) 2022年12月20日	3,858	-	97.9	0.0
	12月末	3,826	△0.8	98.0	0.0
	(期末) 2023年1月20日	3,784	△1.9	97.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

売買および取引の状況

2022年7月21日～2023年1月20日

(1) 投資信託証券

	第109期～第114期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	千口 8,242	千円 185,076	千口 6,473	千円 146,400

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第109期～第114期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2022年7月21日～2023年1月20日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年1月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第108期末	第114期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	千口 53,309	千口 55,079	千円 1,177,593	% 97.7
合計	53,309	55,079	1,177,593	97.7

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第108期末	第114期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は679,547千口です。

通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

投資信託財産の構成

2023年1月20日現在

項目	第114期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	千円 1,177,593	% 96.1
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	47,961	3.9
投資信託財産総額	1,225,565	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2022年8月22日)	(2022年9月20日)	(2022年10月20日)	(2022年11月21日)	(2022年12月20日)	(2023年1月20日) 現在
	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,292,290,030円</b>	<b>1,270,347,759円</b>	<b>1,221,483,744円</b>	<b>1,278,327,680円</b>	<b>1,260,174,016円</b>	<b>1,225,565,630円</b>
コール・ローン等	46,111,251	46,922,835	48,448,996	55,403,878	54,943,804	47,961,749
NAM・グローバル・ ハイディビデンド・エクイティ・ ファンドカレンシー・ セレクト・クラス(評価額)	1,246,168,767	1,223,414,912	1,173,024,736	1,222,913,791	1,205,220,201	1,177,593,871
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,012	10,012	10,012	10,011	10,011	10,010
<b>(B) 負債</b>	<b>20,738,019</b>	<b>21,751,188</b>	<b>24,669,991</b>	<b>20,617,878</b>	<b>29,088,696</b>	<b>20,712,748</b>
未払収益分配金	19,302,525	19,279,018	19,272,140	19,206,433	19,147,920	19,410,047
未払解約金	-	1,206,147	4,175,819	40,612	8,676,082	-
未払信託報酬	1,424,444	1,256,292	1,212,281	1,360,212	1,254,953	1,292,469
その他未払費用	11,050	9,731	9,751	10,621	9,741	10,232
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,271,552,011</b>	<b>1,248,596,571</b>	<b>1,196,813,753</b>	<b>1,257,709,802</b>	<b>1,231,085,320</b>	<b>1,204,852,882</b>
元本	3,217,087,589	3,213,169,689	3,212,023,478	3,201,072,170	3,191,320,153	3,235,007,914
次期繰越損益金	△1,945,535,578	△1,964,573,118	△2,015,209,725	△1,943,362,368	△1,960,234,833	△2,030,155,032
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,217,087,589口</b>	<b>3,213,169,689口</b>	<b>3,212,023,478口</b>	<b>3,201,072,170口</b>	<b>3,191,320,153口</b>	<b>3,235,007,914口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	3,952円	3,886円	3,726円	3,929円	3,858円	3,724円

(注1) 当作成期首元本額 3,224,064,755円  
 当作成期中追加設定元本額 177,240,085円  
 当作成期中一部解約元本額 166,296,926円

(注2) 元本の欠損  
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,030,155,032円です。

# 通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

## 損益の状況

	(第109期 第110期 第111期)	2022年7月21日～2022年8月22日) 2022年8月23日～2022年9月20日) 2022年9月21日～2022年10月20日)	(第112期 第113期 第114期)	2022年10月21日～2022年11月21日) 2022年11月22日～2022年12月20日) 2022年12月21日～2023年1月20日)		
項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
<b>(A) 配当等収益</b>	26,477,735円	26,667,015円	26,690,768円	26,794,492円	26,797,903円	27,238,335円
受取配当金	26,478,084	26,668,449	26,692,291	26,796,305	26,800,407	27,239,879
受取利息	22	3	97	77	-	121
支払利息	△ 371	△ 1,437	△ 1,620	△ 1,890	△ 2,504	△ 1,665
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	4,449,722	△ 27,531,527	△ 57,309,421	57,873,951	△ 29,197,411	△ 49,584,821
売買益	4,459,279	75,428	522,070	58,953,354	89,557	85,286
売買損	△ 9,557	△ 27,606,955	△ 57,831,491	△ 1,079,403	△ 29,286,968	△ 49,670,107
<b>(C) 信託報酬等</b>	△ 1,435,520	△ 1,266,053	△ 1,222,076	△ 1,370,860	△ 1,264,704	△ 1,302,719
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	29,491,937	△ 2,130,565	△ 31,840,729	83,297,583	△ 3,664,212	△ 23,649,205
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	△1,161,580,697	△1,143,886,444	△1,157,702,381	△1,187,343,028	△1,114,361,629	△1,131,570,576
(分配準備積立金)	( 622,878,754)	( 624,726,296)	( 626,737,318)	( 621,691,049)	( 623,868,085)	( 627,147,923)
(繰越欠損金)	(△1,784,459,451)	(△1,768,612,740)	(△1,784,439,699)	(△1,809,034,077)	(△1,738,229,714)	(△1,758,718,499)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	△ 794,144,293	△ 799,277,091	△ 806,394,475	△ 820,110,490	△ 823,061,072	△ 855,525,204
(配当等相当額)	( 357,148,624)	( 360,052,770)	( 363,824,870)	( 371,871,103)	( 373,806,544)	( 390,829,308)
(売買損益相当額)	(△1,151,292,917)	(△1,159,329,861)	(△1,170,219,345)	(△1,191,981,593)	(△1,196,867,616)	(△1,246,354,512)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	△1,926,233,053	△1,945,294,100	△1,995,937,585	△1,924,155,935	△1,941,086,913	△2,010,744,985
<b>(H) 収益分配金</b>	△ 19,302,525	△ 19,279,018	△ 19,272,140	△ 19,206,433	△ 19,147,920	△ 19,410,047
<b>次期繰越損益金(G+H)</b>	△1,945,535,578	△1,964,573,118	△2,015,209,725	△1,943,362,368	△1,960,234,833	△2,030,155,032
追加信託差損益金	△ 794,144,293	△ 799,277,091	△ 806,394,475	△ 820,110,490	△ 823,061,072	△ 855,525,204
(配当等相当額)	( 357,148,624)	( 360,052,770)	( 363,824,870)	( 371,871,103)	( 373,806,544)	( 390,829,308)
(売買損益相当額)	(△1,151,292,917)	(△1,159,329,861)	(△1,170,219,345)	(△1,191,981,593)	(△1,196,867,616)	(△1,246,354,512)
分配準備積立金	628,825,015	630,848,240	632,933,870	628,845,231	630,253,364	633,673,492
繰越欠損金	△1,780,216,300	△1,796,144,267	△1,841,749,120	△1,752,097,109	△1,767,427,125	△1,808,303,320

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,248,786円	25,400,962円	25,468,692円	26,360,615円	25,533,199円	25,935,616円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	357,148,624円	360,052,770円	363,824,870円	371,871,103円	373,806,544円	390,829,308円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	622,878,754円	624,726,296円	626,737,318円	621,691,049円	623,868,085円	627,147,923円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	1,005,276,164円	1,010,180,028円	1,016,030,880円	1,019,922,767円	1,023,207,828円	1,043,912,847円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	3,124.80円	3,143.87円	3,163.21円	3,186.19円	3,206.22円	3,226.93円
(g) 分配金	19,302,525円	19,279,018円	19,272,140円	19,206,433円	19,147,920円	19,410,047円
(h) 分配金(1万口当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・ セレクト・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
15期 (2021年1月20日)	12,758	0	18.3	12,758	98.5	0.0	296
16期 (2021年7月20日)	14,197	0	11.3	14,197	97.9	0.0	300
17期 (2022年1月20日)	16,696	0	17.6	16,696	97.9	0.0	346
18期 (2022年7月20日)	17,264	0	3.4	17,264	98.1	0.0	353
19期 (2023年1月20日)	17,824	0	3.2	17,824	98.0	0.0	291

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・ セレクト・クラス	債券 組入比率
(期首) 2022年7月20日	17,264	-	98.1	0.0
7月末	17,157	△0.6	98.1	0.0
8月末	17,593	1.9	98.3	0.0
9月末	16,062	△7.0	98.2	0.0
10月末	17,988	4.2	98.3	0.0
11月末	18,435	6.8	98.4	0.0
12月末	18,023	4.4	98.6	0.0
(期末) 2023年1月20日	17,824	3.2	98.0	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2022年7月21日～2023年1月20日

## (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	千口 2,132	千円 47,600	千口 3,664	千円 77,530

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2022年7月21日～2023年1月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年1月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	千口 14,907	千口 13,375	千円 285,957	% 98.0
合計	14,907	13,375	285,957	98.0

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は679,547千口です。

投資信託財産の構成

2023年1月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	千円 285,957	% 97.3
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	7,865	2.7
投資信託財産総額	293,833	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年1月20日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>293,833,509円</b>
コール・ローン等	7,865,608
N A M ・ グローバル ・ ハイディビデンド ・ エグジティ ・ ファンド カレンジャー ・ セレクト ・ クラス (評価額)	285,957,891
ニッセイマネーマーケット マザーファンド (評価額)	10,010
<b>(B) 負債</b>	<b>2,013,922</b>
未払解約金	180
未払信託報酬	1,996,082
その他未払費用	17,660
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>291,819,587</b>
元本	163,723,585
次期繰越損益金	128,096,002
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>163,723,585口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>17,824円</b>

(注) 期首元本額	204,712,447円
期中追加設定元本額	434,683円
期中一部解約元本額	41,423,545円

損益の状況

当期 (2022年7月21日~2023年1月20日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>37,690,335円</b>
受取配当金	37,692,397
受取利息	89
支払利息	△ 2,151
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 26,489,989</b>
売買益	4,066,838
売買損	△ 30,556,827
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,013,799</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>9,186,547</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>116,963,874</b>
(分配準備積立金)	( 377,978,560)
(繰越欠損金)	(△261,014,686)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>1,945,581</b>
(配当等相当額)	( 8,629,346)
(売買損益相当額)	(△ 6,683,765)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>128,096,002</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>128,096,002</b>
追加信託差損益金	1,945,581
(配当等相当額)	( 8,629,346)
(売買損益相当額)	(△ 6,683,765)
分配準備積立金	413,655,096
繰越欠損金	△287,504,675

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	35,676,536円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	8,629,346円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	377,978,560円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	422,284,442円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	25,792.52円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■《毎月決算型》の自社の実質保有比率

2022年12月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.2%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

## ■《年2回決算型》の自社の実質保有比率

2022年12月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.2%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 各ファンドの概要

		毎月決算型	年2回決算型
商 品 分 類		追加型投信／内外／資産複合	特化型
信 託 期 間		2013年7月23日～2023年7月20日	
運 用 方 針		外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート（不動産投資信託）等を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を活用し、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド	「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス	日本を含む各国の株式およびリート等	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分 配 方 針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

以下は、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス」および「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2022年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2021年4月1日～2022年3月31日）

<NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス  
/カレンシー・セレクト・クラス>

	(円)
<b>収益</b>	
配当金	421,569,601
受取利息	25,719,976
外国為替取引益（損）	103,954,040
有価証券取引益（評価損益を含む）	1,548,559,414
<b>収益（損失）合計</b>	<b>2,099,803,031</b>
<b>費用</b>	
管理事務代行報酬	5,531,270
管理報酬	47,662,715
年次規制手数料	849,388
名義書換代行報酬	4,140,182
信託報酬	2,637,037
監査報酬	4,361,501
外部専門家支払報酬	1,227,223
受託者報酬	2,261,325
取引費用	10,298,862
サービス手数料	247,716
<b>費用合計</b>	<b>79,217,219</b>
<b>税引前利益（損失）</b>	<b>2,020,585,812</b>
<b>源泉税</b>	<b>(86,075,409)</b>
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）（受益者に対する分配前）	1,934,510,403
<b>受益者に対する分配</b>	<b>(1,226,700,631)</b>
<b>運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）</b>	<b>707,809,772</b>

(2) 投資有価証券明細表 (2022年3月31日現在)  
NAM GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY FUND

Description	Holding / Shares	Issue/ Settle Curr	Market Value (Base)
CHEVRON CORP	33,985.0000	U S D	671,656,457.00
BROADCOM INC	7,201.0000	U S D	550,349,033.00
PFIZER INC	69,174.0000	U S D	434,656,873.00
ARES CAPITAL CORP	164,108.0000	U S D	417,291,249.00
INTL BUSINESS MACHINES CO	25,500.0000	U S D	402,416,555.00
COCA-COLA CO/THE	53,064.0000	U S D	399,316,422.00
SWISS RE AG	33,529.0000	CH F	389,682,865.00
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	154,000.0000	T W D	389,472,079.00
SPARK NEW ZEALAND LTD	954,468.0000	N Z D	369,055,588.00
RIO TINTO PLC	37,070.0000	G B P	360,272,767.00
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCH	6,185.0000	CH F	298,930,790.00
NATIONAL GRID PLC	146,525.0000	G B P	274,549,960.00
TOTALENERGIES SE	38,363.0000	E U R	238,467,102.00
MACQUARIE GROUP LTD	12,856.0000	A U D	238,195,162.00
SIEMENS AG-REG	14,035.0000	E U R	238,168,548.00
DNB BANK ASA	78,072.0000	N O K	216,851,615.00
ABBVIE INC	10,347.0000	U S D	203,586,864.00
PHILIP MORRIS INTERNATION	17,523.0000	U S D	199,794,953.00
GLAXOSMITHKLINE PLC	75,593.0000	G B P	199,003,980.00
PROSPECT CAPITAL CORP	180,270.0000	U S D	181,167,083.00
DBS GROUP HOLDINGS LTD	47,400.0000	S G D	152,317,668.00
VODACOM GROUP LTD	93,076.0000	Z A R	123,698,283.00
MERCEDES-BENZ GROUP AG	14,172.0000	E U R	122,122,258.00
NEWELL BRANDS INC	45,494.0000	U S D	118,221,452.00
RURAL FUNDS GROUP	439,174.0000	A U D	117,289,201.00
ROYAL BANK OF CANADA	8,448.0000	C A D	112,990,256.00
DEUTSCHE POST AG-REG	18,686.0000	E U R	109,895,381.00
AMCOR PLC	77,958.0000	U S D	107,205,260.00
WILLIAMS COS INC	25,033.0000	U S D	101,511,413.00
DOW INC	12,693.0000	U S D	98,167,006.00
WALGREENS BOOTS ALLIANCE	17,510.0000	U S D	95,147,797.00
GETAC HOLDINGS CORP	425,000.0000	T W D	89,570,148.00
ASE TECHNOLOGY HOLDING CO	199,000.0000	T W D	87,251,862.00
VOLVO AB-B SHS	34,618.0000	S E K	79,622,031.00
REALTEK SEMICONDUCTOR COR	41,000.0000	T W D	74,771,878.00
MEDIATEK INC	19,000.0000	T W D	72,842,268.00
IBERDROLA SA	51,253.0000	E U R	68,660,332.00
AP MOLLER-MAERSK A/S-B	168.0000	D K K	62,130,719.00
HON HAI PRECISION INDUSTR	137,000.0000	T W D	61,518,779.00
NOVATEK MICROELECTRONICS	34,000.0000	T W D	61,429,818.00
ATEA ASA	29,255.0000	N O K	53,684,860.00
LENOVO GROUP LTD	342,000.0000	H K D	45,160,410.00
KINDRED GROUP PLC	32,887.0000	S E K	44,202,266.00
SIMPLO TECHNOLOGY CO LTD	32,000.0000	T W D	42,091,350.00
ANNALY CAPITAL MANAGEMENT	47,297.0000	U S D	40,413,992.00
KYNDRYL HOLDINGS INC-W/I	5,100.0000	U S D	8,121,374.00

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 22 期

(計算期間：2022年4月16日～2022年10月17日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



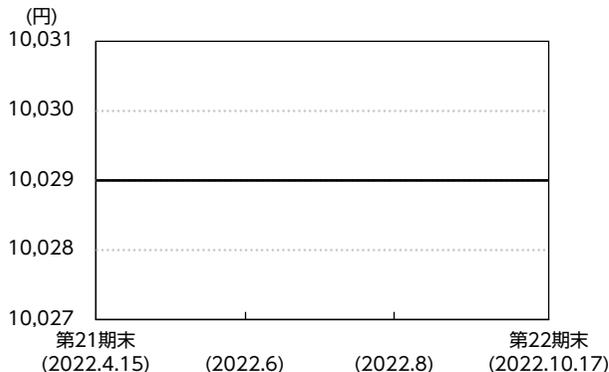
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2022年4月16日～2022年10月17日

### 基準価額等の推移



#### ■ 基準価額の主な変動要因

##### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

##### <下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
18期(2020年10月15日)	10,030	△0.0	61.6	50
19期(2021年4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期(2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期(2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期(2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年4月15日	10,029	—	69.5
4月末	10,029	0.0	69.5
5月末	10,029	0.0	69.4
6月末	10,029	0.0	59.6
7月末	10,029	0.0	59.6
8月末	10,029	0.0	59.5
9月末	10,029	0.0	79.4
(期末)2022年10月17日	10,029	0.0	79.4

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2022年4月16日～2022年10月17日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,029円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2022年4月16日～2022年10月17日

## 公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 20,141	千円 － (15,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2022年4月16日～2022年10月17日

## 公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第374回 大阪府公募公債（10年）	10,083	－	－
平成24年度第2回 新潟県公募公債	10,058		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2022年10月17日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	40,000 (40,000)	40,116 (40,116)	79.4 (79.4)	—	—	—	79.4 (79.4)
合計	40,000 (40,000)	40,116 (40,116)	79.4 (79.4)	—	—	—	79.4 (79.4)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第193回 神奈川県公募公債	0.7390	2022/12/20	10,000	10,012
	第374回 大阪府公募公債 (10年)	0.9380	2023/ 7 /28	10,000	10,073
	平成24年度第2回 新潟県公募公債	0.7900	2023/ 2 /27	10,000	10,028
	第115回 共同発行市場公募地方債	0.8000	2022/10/25	10,000	10,001
	合計	—	—	—	40,116

## 投資信託財産の構成

2022年10月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	40,116	79.4
コール・ローン等、その他	10,408	20.6
投資信託財産総額	50,525	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月17日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>50,525,565円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 債 (評 価 額)	10,341,711
公 社 債 (評 価 額)	40,116,926
未 収 利 息	55,621
前 払 費 用	11,307
<b>(B)負債</b>	<b>12</b>
未 払 解 約 金	3
そ の 他 未 払 費 用	9
<b>(C)純 資 産 総 額 (A - B)</b>	<b>50,525,553</b>
元 本	50,381,791
次 期 繰 越 損 益	143,762
<b>(D)受 益 権 総 口 数</b>	<b>50,381,791口</b>
<b>1万口当たり基準価額 (C / D)</b>	<b>10,029円</b>

(注1) 期首元本額 50,381,974円  
 期中追加設定元本額 -円  
 期中一部解約元本額 183円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,952,861円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジあり)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Cコース(為替ヘッジあり)	9,984円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

### 損益の状況

当期 (2022年4月16日~2022年10月17日)

項目	当期
<b>(A)配 当 等 収 益</b>	<b>135,408円</b>
受 取 利 息	138,719
支 払 利 息	△ 3,311
<b>(B)有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>△138,368</b>
売 買 損 益	△138,368
<b>(C)信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 241</b>
<b>(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)</b>	<b>△ 3,201</b>
<b>(E)前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>146,963</b>
<b>(F)合 計 (D + E)</b>	<b>143,762</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金 (F)</b>	<b>143,762</b>

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。